



おつかれさま。整備を終えて皆で記念写真



楠那公民館にてオリエンテーション



安全第一で作業する

白梅が咲き始め、山の斜面いっぱい暖かな陽を受け、春の訪れを感じられたこの日。ここ黄金山の麓は、地元企業のマツダロジスティクス(株)様が中心となって自然環境を守る取り組みをされてきた場所です。数年前から当倶楽部も「地域貢献活動」の一環として例会を行い、指導などに関わってきました。また当日、開会前に地元の方から飛び込み参加の申し入れが2名あるなど、地元の関心度の高さに驚きながらのスタートとなりました。

オリエンテーションでは、「地域活性化への功績」が評価され、「令和4年度広島市民賞」を賜った事を山本理事長から報告を受けました。その後、竹林整備の注意事項について佐藤さんが説明、続いてラジオ体操を行い現場へ移動しました。

竹林整備においては、「4㎡当たり2本～3本」、「傘をさして歩ける間隔」に伐採を行うのがベストで、これまで

も特に密なエリアを選定し作業を進めてきました。しかし、場所によっては、倒れた竹や立ち枯れ、過度な密状態の箇所が非常に多く、今回は何よりも安全を第一に重視し、次の整備手順で作業を進めました。

- 1) 整備エリアを等高線上に横一列15m間隔に、5分割に設定し上下作業を防ぐ。
- 2) 各エリアとも等高線上に4m幅で帯状に伐採し、作業道のスペースを確保。
- 3) 出来た作業道スペースを利用して、伐倒、玉切り、枝払いを行い伐り揃えて棚積する。

その上で、エリア内を定性伐採し基準とした竹林に仕立てる。

A班～E班ともに、決められた手順に沿って取り組んだ結果、担当エリア内の作業道はほぼ完成し、順調に伐採作業ができました。ただ、密度が濃くエリア全体で見ると50%くらいの達

成状況ではありましたが、当初から、量でなく質を高める作業が狙いであり、安全重視で、美観を整える目的は達成できたかと思います。

また、マツダロジスティクス(株)から参加されたご家族12名は、午前中のみ参加でしたが、伐倒、玉切りなど子供たちもお父さんやお母さんと協力し、飽きることなく、熱心に作業される姿がとても頼もしく感じられました。担当エリア内も明るく日が差し込み、達成感を感じられたとお言葉も聞けました。

終了後に各班から気付きを述べて頂きましたが、今回の作業手順については高評価でした。次年度においても、決めた手順を継続し取り組むことで、安全を重視した効率的な作業ができると思います。『爽やかな風が吹抜ける竹林を目指して!!』



暖かな斜面での昼休憩。くつろぎのひと時。



お母さんに「しっかり押さえて～」



教わりながら竹を切ったよ。次は追い口だ。